

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の状況の変化に合った理念や基本方針になっているか、見直しの時期に来ていると思われる。	理念や基本方針に関して、再度、話し合う機会を設け、必要があれば見直しも視野に入れ、現状にあった方針を基にサービスへと活かしていく。	現在の事業所の方向性の確認、また、それに伴うケアの方針の検討を2ヶ月を目標に行う。それに基づき、法人の年度末である5月の勉強会にて理念の見直しを行なう。その後、年に一度日を決め、定期的に見直す機会を設ける。	3ヶ月
2	33	終末期に向けての体制が整っておらず、夜間対応の難しさや、近隣に協力いただけるような看護ステーションがなく対応が難しい。	終末期の対応に向け体制を整える。	医療連携体制加算にこだわらず、重度化した場合や終末期のあり方について、当事業所の環境に合った指針の策定やそれに伴うスタッフ教育を行う。また、ご家族様よりご意見を頂戴して、現状で出来る限りの支援体制の確立を目指す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。